

## 基本政策Ⅷ 文化財の保護・活用と魅力ある博物館づくりを進める

### 政策 目標

「川崎市文化財保護活用計画」に基づき、国史跡橘樹官衙遺跡群をはじめとする文化財の保護・活用を推進します。

日本民家園及びかわさき宙と緑の科学館の博物館活動の充実により、各施設の更なる魅力向上を図り、本市の魅力として発信します。

### 主な課題

- ①本市初の国史跡となった**橘樹官衙遺跡群**（千年伊勢山台遺跡〔橘樹郡家跡〕・影向寺遺跡）については、「国史跡橘樹官衙遺跡群保存活用計画」や「国史跡橘樹官衙遺跡群整備基本計画」に基づき、**本市の貴重な宝として将来を見据えた整備**を行い、整備完了後は歴史公園として**全国にその魅力・価値を発信し、更なる文化的発展**につなげていく必要があります。また、文化財を市民共通の財産として次世代へ伝える取組を進めるため、自主的な文化財保護・活用に対する支援や子どもたちが文化財に触れる機会を確保し、体験的な学習の場面を創出することが求められています。
- ②**日本民家園及びかわさき宙と緑の科学館**では、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により、来園・来館が困難な方やこれまで訪れる機会のなかった方等に向けて、SNSなどを活用し、自宅で楽しみながら学べるコンテンツの提供や広報を行うとともに、**生田緑地という本市を代表する地域資源を最大限にいかし、効果的な魅力発信**を行う必要があります。

## 主な取組成果

- ① **「国史跡橘樹官衙遺跡群整備基本計画」に基づく整備の推進**については、橘樹官衙遺跡群調査整備委員会の指導・助言を受けつつ、「整備基本計画短期計画第1期」の**緑地整備及び復元建物の実施設計を行うとともに、史跡整備工事に着手**しました。また、橘樹官衙遺跡群活用事業として、史跡に隣接する橘小学校での出前授業を4クラス120人に実施したほか、市民を対象に史跡めぐり1回で40人、橘樹学講座2回で71人、発掘調査現地見学会1回で185人の参加があるとともに、職員を講師として4回派遣し80人の市民に講義等を行い、目標の360人を上回る496人の実績をあげ、市民の理解を促進することができました。さらに、文化財ボランティアの育成・確保については、昭和40年代に実施された「川崎市石造物調査」の追跡調査として、道標の現状確認調査を実施するとともに、指定文化財に関する講座を実施するなど、ボランティアの活動の充実やスキルアップにつなげました。
- ② **日本民家園、かわさき宙と緑の科学館では、非来園（館）型サービスとして公式サイトコンテンツ充実を図るとともに、SNS等を活用して情報発信**を行いました。また、事業連携については、相互連携イベントである「七夕」「お月見」事業を実施しました。日本民家園では、日本民家園管理運営事業を効率的・効果的に進め、より魅力ある施設としていくことを目的とした運営基本方針を策定するため、令和4年度は関係各課と方向性の整理を行いました。かわさき宙と緑の科学館では、**博物館事業の充実により更なる魅力向上を図るため**、改正博物館法等を踏まえつつ、パブリックコメント手続や市民説明会により広く市民の意見を伺いながら、令和5年度から始まる**「第2期川崎市青少年科学館運営基本計画」**を策定しました。

## 教育改革推進会議における意見内容

- ① **川崎市内の様々な史跡、文化財を子どもがGIGA端末を活用して当時の様子を知る（学ぶ）ことによって、川崎により一層親しみが持てるのではないかと考える。**また、橘樹官衙遺跡群の整備は、子ども達が文化財に触れる貴重な機会になると思う。
- ② 日本民家園は、合掌造りや歌舞伎の舞台など海外の旅行者にとって非常に魅力あるコンテンツだと思う。SNS等の広報活動を行って、積極的に周知してほしい。

## 今後の取組の方向性

- ① **「国史跡橘樹官衙遺跡群整備基本計画」に基づき、文化庁や調査整備委員会の指導・助言を受けながら、史跡整備工事を実施するとともに、史跡整備の計画を検討していきます。**また、橘樹官衙遺跡群活用事業の参加者数が増加傾向を示していることから、事業への参加をきっかけとして橘樹官衙遺跡群や周辺の歴史文化についてより詳しく知りたい市民の要望・期待に応えるため、引き続き活用事業を実施していきます。さらに、**「川崎市文化財保護活用計画」が計画期間の満了を迎えるため、後継の計画として文化財保護法に基づき「川崎市文化財保存活用地域計画」を令和5年度に策定**します。専門的な知識を有する文化財ボランティアの育成・確保については、引き続き文化財の活用や調査に資する事業を計画し、ボランティアの活動の場を確保します。
- ② 日本民家園、かわさき宙と緑の科学館では、展示・講座等教育普及活動について引き続き幅広い年代に対応した企画を実施します。生田緑地内の連携については、各施設及び指定管理者の特長と強みをいかしながら進めます。**日本民家園では、運営基本方針の策定**について令和5年度に策定される「川崎市文化財保存活用地域計画」との整合を図りながら進めていきます。かわさき宙と緑の科学館では、計画に基づく事業推進について学芸員を中心に中長期の視点をもって各博物館事業に取り組みます。

## 参考指標

指標名	指標の説明	実績値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7年度)
市内の指定・登録等の文化財及び「川崎市地域文化財顕彰制度」に基づく地域文化財の件数	従来の国・県・市の指定・登録の文化財件数に加え、「川崎市地域文化財顕彰制度」に基づいて顕彰した地域文化財の件数を追加 【出典：川崎市教育委員会調べ】	326件	382件	-	-	-	470件 以上
		(R2(2020)年度)					
文化財ボランティアが参加した事業日数	文化財ボランティアが参加した文化財活用事業の延べ日数 【出典：川崎市教育委員会調べ】	7日	28日	-	-	-	25日 以上
		(R1(2019)年度)					
橘樹官衙遺跡群関連事業への参加者数	橘樹官衙遺跡群の関連事業への参加者数 【出典：川崎市教育委員会調べ】	374人	496人	-	-	-	400人 以上
		(R2(2020)年度)					
「日本民家園」「かわさき宙と緑の科学館」入園(館)者数	日本民家園の年間入園者数(入園料一般500円、中学生以下・市内65歳以上無料)及びかわさき宙と緑の科学館の年間入館者数(入館料無料) 【出典：川崎市教育委員会調べ】	民家園 68,267人	101,125人	-	-	-	138,000人 以上
		(R2(2020)年度)					
		科学館 178,245人	249,649人	-	-	-	291,000人 以上
		(R2(2020)年度)					
「日本民家園」「かわさき宙と緑の科学館」来園(館)者アンケート満足度	「良かった・満足した」と回答した来園(館)者の割合 【出典：川崎市教育委員会調べ】	民家園 94.0%	91.6%	-	-	-	97.0% 以上
		(R2(2020)年度)					
		科学館 87.6%	82.0%	-	-	-	90.0% 以上
		(R2(2020)年度)					